

培良タイムス

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/>

令和2年8月24日（月）

第5号

京田辺市立培良中学校

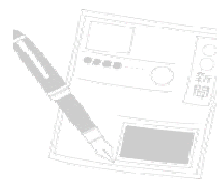
TEL 62-9363

継続は力なり「続けるという才能」

校長 山下 博史

2週間という短い夏休み。どう過ごしましたか？2学期は今日から始まります。いつもより少し長い2学期になります。いろいろな行事はまだできません。でも目標を持って進むことで、その先に希望がついてきます。

そんな話を少ししてみたいと思います。30年以上の教職生活を送ると忘れられない生徒がたくさんいます。教師になって3年目、3年生で担任したA君です。まじめで、コツコツ勉強する普通の生徒でした。成績もクラスの中位程度でした。5月のある日、彼は担任であった私に、突然？（もしかしたら、以前から質問したいと思っていてもできなかったのかもしれませんが！）こんな質問をしました。「僕は高校へ行けますか？」5月の段階ではまだ判断できないと思った私は、「選ばなければ高校に行けると思う」と答えると、「希望高校へ合格するための方法を教えてください」と再度真剣な表情で質問してきました。さて、困った私は、自分ではできなかったけれど（1週間で挫折しました）この方法は絶対に有効だと思う方法を彼に伝えました。「入試まで、新聞の一面に載っているコラムを毎日書き写す、書き取りをしたらいいよ。」と答えました。当時この一言が彼の人生を大きく変えるとは思っていませんでした。翌日から彼は新しいノートにコラムを切り抜いて貼り、新聞の書き取りを始めました。彼が朝に提出して、私が添削して下校時に返すという生活が始まりました。



今君たちがやっている家庭学習の取組みたいなものですが、唯一違うのは、教科の学習ではないことです。はじめは「3日坊主にならないように」。こんなコメントを付して返していました。しかし、彼は来る日も来る日も書き取りを続けました。体調が少々悪くても、部活の大会があっても、定期試験の間であっても書き続けました。この生活を続けるうちに彼の学力は着実に向上していきました。書くことで漢字を覚え、作文が得意になり、時事問題を学んで公民が好きになったのです。それだけではなく、それを添削していた私の語彙力を含め、私自身の学力の向上にもつながりました。（なんと、私自身が3日坊主を克服してしまったのです）



また、彼に刺激を受けて同じことをする生徒も出てきました。これにヒントを得て、この年の夏休みの3年社

会科の宿題は「新聞一面の見出しを書き写し、一言感想を！」にしました。そんなに難しくはないのですが、毎日続けなければならないことが「ミソ」でした。「夏休みの最後にまとめてやってしまおう！」と思っている生徒に「でも、そんな事、させないよ！」的な取組でした。

ところがこの年の夏休み中に大きな飛行機事故（1985年8月12日、日本航空123便墜落事故（犠牲者520名）御巣鷹山に墜落）があり、見出しの書き写しだけでなく、記事を切り抜き、写真を張り、ノートにまとめてきた生徒も多くいました。そこまでは要求していなかったのですが、当時の3年生の知的好奇心をくすぐったのかもしれない。A君は相変わらずコツコツと書き取りノートを続け、府内の私立高校へ進学していきました。毎日の忙しさの中、A君の存在を忘れかけていたころ、突然彼から電話がありました。「先生、都内のZ大学法学部に合格しました。先生のお陰です。中学校時代に始めた新聞の書き取りを高校3年間書き続けました。そのおかげで指定校推薦で合格しました」「えっ！！」なんとA君は中学校で始めた書き取りを高校でも続け都合4年間つづけていたのです。毎日決めた時間に机に向かい新聞を書きとる習慣が、彼の生活の一部になっていたというのです。その後大学に進学しても続けたそうです。



先日本当に久しぶりに彼から電話があり、「先日総理大臣に会いました」

と嬉しそうに報告してくれました。そう彼は今、国家公務員として霞が関の官僚になったのです。

前回の培良中学校タイムスでその一部をお話したと思いますが、クラスの中でも目立たない、成績も平均的なA君が官僚として活躍する姿は、私に多くのことを教えてくれます。中学校時代の成績で人生が決まるわけではないこと、公立中学校の普通の学力の生徒でも努力次第で霞が関の官僚になれること、人の忠告や助言を素直に聴く大切さ、そして何よりも「続ける事の価値」です。経済的な理由で塾に通えない中でも決してあきらめず、私の「無茶ぶりの助言」を信じて、書き取りをずっと続けたことは誰にでもできることではありません。しかし、気持ちの持ち方次第で誰にでもできる可能性はあります。新聞の書き取りという毎日の習慣が、彼を机に向かわせ、生活のリズムを作り学習する喜びや意味を味あわせ、未来への希望や勇気や自信を彼に与えたのでしょう。

私は人の才能にはほとんど差がないと信じています。人にはそれぞれ才能があり、その差は分野（運動、芸術、技能、勉強）が異なるだけだと思っています。その隠れた才能（新入生は自分の土俵、入学式でお話ししました。覚えているかな？）を開花させるか否かは「続ける力」の有無であり、挫折や困難に負けない心の強さだと思います。



この夏の培良中生の活躍を振り返って

8月8日(土)9日(日)と綴喜地方夏季大会(代替)が行われました。3年生にとっては最後の大会。思ったような結果が出せなかったチーム、思っていた以上の結果が出せたチーム、…それぞれいろいろな思いはあっても、みんな一生懸命になれたことは、これからも良い思い出として、いつまでも心に刻まれていることでしょう。では表彰された部を紹介します。



綴喜大会(代替え大会)結果

優勝

バドミントン部
団体



優勝

個人【ダブルス】森岡弥生・長澤愛華ペア

第3位

【シングルス】澤野遥香



準優勝

バスケットボール部女子

準優勝

ハンドボール部男子



第3位

ハンドボール部女子



第3位

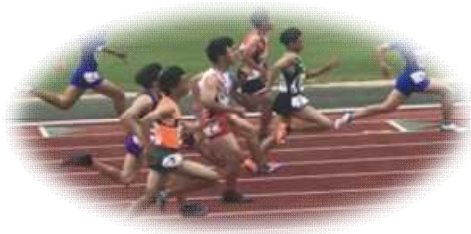
ソフトテニス部男子

【個人】

岡田瑤平・奥田遼馬ペア



通信陸上大会



第2位

2年 100m 池田涼汰

記録 11 秒 72



2学期からお世話になる先生です！

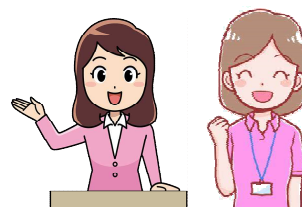
2 学期から教科でお世話になる先生です。

1 年英語・心の居場所サポーター

加藤 彩乃 先生

1 年数学・3 年体育

笠原 有紗 先生



学習・部活動・放課後の学習でお世話になります。

8・9月の予定

- ◇◆最終下校時刻 17 時 45 分◆◇
- 28 日 (金) 3 年実力テスト
 - 7 日 (月) ～教育実習開始
 - 8 日 (火) 内科検診 (2-1・2・みのり)
 - 10 日 (木) 耳鼻科検診
 - 11 日 (金) 眼科検診



- 14 日 (月) 内科検診(2-3・1-3)
- 17 日 (木) 内科検診 (1-1・2)
- 18 日 (金) 高校出前授業 (3 年)
- 25 日 (金) 喫煙防止教室(1 年)



